

東北 I M 連携協議会（T A I M）第 1 5 回総会

期日：令和 3 年 7 月 2 日

場所：書面及びリモート開催

次第

1. 開会

2. 挨拶 東北 I M 連携協議会代表幹事 柿崎 博美

3. 議長選出

4. 議事

1) 第 1 号議案

- ・令和 2 年度事業報告について
- ・令和 2 年度収支決算報告について

2) 第 2 号議案

- ・令和 3 年度事業計画（案）について

3) 第 3 号議案

- ・役員会改選（案）について

4) その他

5. その他

6. 閉会

1) 第1号議案

・令和2年度事業報告

① 東北IM連携協議会総会・ワークショップ in 新庄

期 日 : 令和2年7月9日(木)～10日(金) 総会、ワークショップ

・コロナ感染症を考慮し、中止とした。

・総会は書面決議とし過半数を超える会員より承諾を得て承認された。

② 東北IM連携協議会ワークショップ in 石巻

期 日 : 令和2年10月29日(木)～30日(金) 講演・事例紹介・アワード等

・コロナ感染症を考慮し、中止とした。

・アワードについても表彰者中止とした。

③ 各県IMスキルアップ研修への協力

・北東北スキルアップ研修(詳細は資料1)

研 修 名 : 青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会
令和2年度総会・第1回スキルアップ研修会

期日場所 : 令和2年9月4日(金) 青森県庁西棟8階大会議室 41名

内 容 : 青森県内創業実績等について(県地域産業課より)
支援事例紹介(いわき市、手塚正 Senior-IM)

研 修 名 : 青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会
令和2年度第2回スキルアップ研修会

期日場所 : 令和3年1月25日(月) 青森県庁西棟8階大会議室 42名

内 容 : 女性起業支援事業について(県所業支援グループ)
IM養成研修受講者中間報告(2名)
女性IMにより女性起業支援事例(奥崎千詠子 IM)
金融機関の女性起業家支援事例(青森県信用保証協会)
国・東北地域女性起業家支援事例(重巢敦子 Senior-IM)

・南三県合同研修会(明細は資料2)

研 修 名 : 令和2年度みやぎIM連携協議会総会・南東北三県合同スキルアップ研修

期日場所 : 令和2年8月26日(金) TKP 仙台西口ビジネスセンター 31名

内 容 : 今後のJBIAやBI・IMの活動(JBIA 会長 星野敏)
青森県・北三県のIM交流(青森県、加藤雅紹 Senior-IM)
東北と全国のIM交流(事務局長、佐藤亮 Senior-IM)
情報提供とグループディスカッション

研 修 名 : 南東北三県合同スキルアップ研修

期日場所 : 令和2年10月29日(木) 石巻市水産総合振興センター 28名

内 容 : 地域に根差した IM 活動 (JBIA 会長 星野敏)
東日本大震災と石巻市の産業 (石巻市役所 中村恒雄)
東日本大震災による二次創業 (島津麴店 佐藤光弘)

研 修 名 : 南東北三県合同スキルアップ研修・宮城県市町村創業ネットワーク会議
期日場所 : 令和 3 年 2 月 16 日 (火) TKP 仙台西口ビジネスセンター 55 名 (リモート含む)
内 容 : 東北地域支援機関紹介
宮城県や各機関による創業支援事業報告
情報提供

④ 令和 2 年度山形県インキュベーション・マネジャー養成研修事業協力

期 間 : 令和 2 年 9 月～令和 3 年 3 月
協力内容 : 講師、インストラクター、BI 実習等
明細別添資料 3

⑤ ビジネスマッチ東北 2022 春 出展・マッチング協力

期 日 : 令和 3 年 3 月 10 日 (木)
会 場 : 宮城県仙台市 夢メッセみやぎ
参加内容 : マッチング協力

⑥ J B I A アンケート協力

期 日 : 令和 2 年 7 月～
全国からの回答者数 248 名、内東北から 102 名 (41.1%) で東北が回答率で No.1 となりました。皆様のご協力を感謝します。

⑦ 幹事会

「第 25 回東北 IM 連携協議会幹事会」

期 日 : 令和 3 年 3 月 12 日 (水)
時 間 : 14:00～ (zoom)
協議事項 : 1) 東北 IM 連携協議会事業について
・ R2 ワークショップ中止報告 (宮城・山形)
・ R2 青森県、南三県スキルアップ研修計画について
・ 他
2) 役員改選について
・ 書面総会での留任人事取扱いについて
3) 情報提供
・ 東北経済産業局様より
・ 女性起業家等ネットワーク活動について
4) その他

⑧ ホームページとメーリングの運営

東北IM連携協議会ホームページ運用 : <http://www.taim.jp/>

会員の情報発信や交流のアイテムとして活用中。会員各位の活用やご意見をお待ちします。

登録数 : 132 アドレス

メーリングリストの運用 : 会員 taim02@taim.jp

役員 touhoku-im@taim.jp

⑨ 令和2年度女性起業家等支援ネットワーク構築事業への協力

事業概要 : 女性の起業を支援するため、構成機関と女性起業家等支援ネットワークが連携してイベントやセミナーを開催し、これまで手薄だったフェーズ0. 1. 支援の充実を図ると同時に、女性起業家等支援ネットワークの活動紹介や起業アテンダントとの連携支援を提案し、女性の起業支援に対する理解と普及を実施した。

協力内容 : 連携イベントやセミナー開催協力

- ・ココロの準備セミナー（岩手県一関市・花巻市、令和2年10月1、8、15、22日計4回）
- ・起業アテンダント×創業支援者マッチング交流会（福島県福島市、令和2年12月14日）
- ・福島県 令和2年度潜在的な女性起業家発掘育成事業 起業アテンダント×創業支援者マッチング交流会（福島県福島市、令和2年12月14日）
- ・経済産業省 女性起業家支援連絡会議（私の起業応援団）会員登録および活動の周知
- ・日本政策金融公庫 女性・若者創業相談ウィーク キックオフイベント周知および登壇者紹介（オンライン・令和3年2月17日）

青森県インキュベーション・マネジャーネットワーク協議会令和2年度スキルアップ研修会

令和2年度 第1回スキルアップ研修会

日時：令和2年9月4日（金） 15:20～17:00（15:00～15:20 総会開催）

場所：県庁西棟8階大会議室

参加者数：41名

- 1 開会あいさつ 青森県インキュベーション・マネジャーネットワーク協議会 会長 上平 好弘
- 2 県内の創業実績等について（県地域産業課） 15:20～15:40
- 3 講演 15:40～16:40
 テーマ：「いわき市の地域新産業創造に向けた取り組み
 ～いわきのがんばる中小企業の事例紹介～」
 講師：公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会 事務局長 手塚 正 氏
- 4 質疑応答・意見交換 16:40～17:00
- 5 閉会

令和2年度 第2回スキルアップ研修会

日時：令和3年1月25日（月） 15:00～17:00

場所：県庁西棟8階大会議室

参加者数：42名

- 1 開会あいさつ（15:00～15:05） 青森県インキュベーション・マネジャーネットワーク協議会 会長 上平 好弘
- 2 女性起業支援に係る事業について（15:05～15:15）
 県地域産業課 創業支援グループ 主事 對馬 淳美 氏
- 3 IM養成研修受講者による中間報告（15:15～15:35）
 ・青森商工会議所 渋谷 弥生 氏
 ・田子町役場 本木 智子 氏
- 4 女性IMによる女性起業支援の事例について（15:35～15:50）
 （公財）21 あおもり産業総合支援センター インキュベーション・マネジャー 奥崎千詠子 氏
- 5 女性支援チーム「エールブランシェ」の取り組みについて（15:50～16:00）
 青森県信用保証協会 創業支援課 課長補佐 堀川 直子 氏
- 6 女性起業支援の取り組みについて（16:00～16:40）
 NPO 法人福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー共同機構 事業マネージャー 重巢 敦子 氏
- 7 意見交換（16:40～17:00）
- 8 閉会

令和 2 年度 みやぎ IM 連携協議会の活動と東北 IM 連携協議会連携活動

認定 IM 等のスキルアップや認定 IM 同士のネットワーク化を図るため、スキルアップ研修会を企画し開催した。各創業支援機関で中核となる認定 IM をバックアップするとともに、地域における創業支援機能の面的強化のため、既存の創業支援ネットワークとの連携体制の強化に努めた。今年度も東北 IM 連携協議会と連携を図るとともに、「山形県創業支援マネージャー連携協議会」、「福島県インキュベート施設ネットワーク協議会」、「宮城県市町村創業支援ネットワーク会議」と連携し、共同で研修会を実施する企画を作成した。

【スキルアップ研修会】

キル・セッション研修会】

	日 時	場 所	参加者数	
第 1 回	令和 2 年 8 月 26 日(水) 13 時 00 分～17 時 00 分	TKP 仙台西口 ビジネスセンター(仙 台市)	参加者 (来賓等 含む)	26 名
			事務局	5 名
			合 計	31 名
	内 容	※ 南東北 3 県(宮城県、山形県、福島県)の IM 連携組織と(独) 中小企業基盤整備機構東北本部と連携し、合同スキルアップ 研修会として開催。 ※ 午前中に「みやぎ IM 連携協議会」総会を併せて開催 (1) キーノートスピーチ ・「今後の JBIA や BI・IM の活動」 (JBIA 会長 星野 敏 氏) (2) 講演 ・「青森県・北三県の IM 交流について」 (21 あおもり産業総合支援センター 連携推進室 室長 加藤 雅紹 氏) ・「東北地域と全国の IM 交流について」 (東北 IM 連携協議会 事務局長 佐藤 亮 氏) (3) 情報提供 (4) グループディスカッション		
第 2 回	令和 2 年 10 月 29 日(木) 13 時 30 分～16 時 30 分	石巻市水産総合振興 センター (石巻市)	参加者	23 名
			事務局	5 名
			合 計	28 名
	内 容	(1) 講演 ・「地域に根差した IM 活動」 (JBIA 会長 星野 敏 氏) ・「東日本大震災と石巻市の産業－震災から 10 年を前に－」 (石巻市産業部産業推進課 課長 中村 恒雄 氏) (2) 事例紹介 ・「東日本大震災による二次創業」 (島津麴店 佐藤 光弘 氏) (3) 情報提供		
第 3 回	令和 3 年 2 月 16 日(火) 14 時 00 分～16 時 00 分	INTILAQ 東北イノベーション センター (仙台市)	参加者 (来賓等含 む)	51 名
			事務局	4 名

	内 容	※ 第2回宮城県市町村創業支援ネットワーク会議との合同会議として開催（リアル＋リモートのハイブリッド形式）。 （1）第1部 ・ INTILAQ 東北イノベーションセンターの施設概要説明 （2）第2部 ・ 令和3年度の県施策について ・ 令和2年度の創業情報提供事業およびUIJ ターン創業支援事業の報告 （3）第3部 ・ 令和2年度のみやぎ創業支援ネットワーク構築事業の報告 ・ 令和2年度のIM研修受講の報告 （4）第4部 ・ 令和2年度の創業推進連携事業の報告 ・ 情報提供
--	-----	---

- a) 今年度は4回の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、年度当初の第1回は中止せざるを得なかった。
- b) スキルアップ研修会はその名称のとおり、個々人の能力向上を目的としているほか、人的ネットワークの強化も目的としており、リアルでの開催が理想的である。
- c) 第3回は初めての試みとしてハイブリッド形式で開催したが、次年度もリアルでの開催が難しくなる事態も考えられる。そのため、今年度実施した研修会の開催方法や内容を基にして、協議会の役員の意見や要望も取り入れながら、会員のさらなるスキルアップにとってより良い研修会となるよう企画を検討し実施していきたい。

東北 I M連携協議会 I M養成研修報告

1. 内容

(1)概要

東北の I M認定希望者を対象とした、J B I A のカリキュラムによる I M養成研修を山形市において実施。

(2)参加者

- ①受講者 16名 (青森2名、宮城2名、福島2名、山形10名)
 ②修了者 16名 (上記同様)
 ③認定 I M 16名 (上記同様)

2. 開催日・場所

(1)前期スクーリング

- ①開催日・場所 令和2年9月28日～30日
 (於：霞城セントラル、県産業創造支援センター(山形市))
 ②実施方法 対面型集合研修
 ③カリキュラム

	9:55集合	9:45～10:50	9:45～11:00
10:00	10:00～11:00 開講式・オリエンテーション 挨拶 (山形主催者) 説明 (山形主催者) 受講生自己紹介	本研修の起業家育成法 J B I A 会長 星野 敏	女性起業家育成とSA制度 J B I A (研修事業部) J B I A Senior-IM 重巢 敦子
		休憩	
11:00	11:00～12:30 現代日本型BI/IM概要 BIの歴史と日本型への経緯	11:00～12:30 起業家・事業輩出システム 起業家対応実習記入要領演習	11:10～12:30 地域産業人材増加策に取り組む活動事例 10年後を見据えた子供対象起業家育成
12:00	J B I A 会長 星野 敏	J B I A 理事 (研修事業部) J B I A Senior-IM 新城 榮一	J B I A Senior-IM 阿部 浩美
	昼休	昼休	昼休
13:00			
	13:30～14:50 オーソドックスな施設型BI事例 花巻市起業化支援センター	13:30～14:50 起業家対応実習の実施要領	13:30～14:50 討論 BI/IM理解と整理 修了論文要領解説 OJT期間利用ML活用
14:00	J B I A Senior-IM 佐藤 亮	J B I A (研修事業部) J B I A Senior-IM 重巢 敦子	J B I A 会長 星野 敏
	休憩	休憩	休憩
15:00	15:00～16:20 近年のネットワーク型箱なしBI事例 21あおり産業総合支援センター	15:00～16:50 BI実施体制構築講義 日本型BIの形成システム要素と連携 J B I A 会長 星野 敏	15:00～16:00 小論文 (考查対象) テーマ「BI/IMとは何か」
16:00	J B I A Senior-IM 加藤 雅紹	BI実施体制構築演習	アンケート記入 16:00 解散
	休憩	J B I A 理事 (研修事業部) J B I A Senior-IM 新城 榮一	
	16:30～17:50 グループによるワークショップと発表 「BI発表事例のIM5be分析」	休憩	
17:00	J B I A 理事 (研修事業部) J B I A Senior-IM 新城 榮一	17:00～17:30 起業家対応実習・インキュベータ実習準備	
		J B I A Senior-IM (山形主催者)	

(2)BI実習

- ①開催日・場所 令和2年10月22日23日、26日27日
(於：花巻市起業支援センター(花巻市))
- ②実施方法 対面型集合研修
- ③カリキュラム

	時間	内 容
1日目	13:00～13:15	ホテルグランシェール花巻集合
		自己紹介・職員紹介・研修日程等の説明
	13:15～14:00	センター概要・研修ポイント
	14:00～14:40	花巻市の産業振興施策
	14:40～15:00	休憩
	15:00～15:30	花巻商工会議所の創業支援と連携活動
	15:30～16:00	花巻信用金庫の創業支援と連携活動
	16:00～16:40	花巻市起業支援センターCD支援事例
	16:40～17:00	補足・事務連絡
2日目	9:00～9:30	支援センター見学
	9:30～10:00	入居企業視察(リマテック東北(株))
	10:00～10:30	入居企業視察(有)Q-Lights)
	10:30～10:45	移動
	10:45～11:45	卒業企業視察(株)マユミ精工)
	11:45～13:10	昼食・休憩・移動
	13:10～14:00	地域支援企業訪問(佐藤ぶどう園)
	14:10	研修修了、解散

(3)後期スクーリング

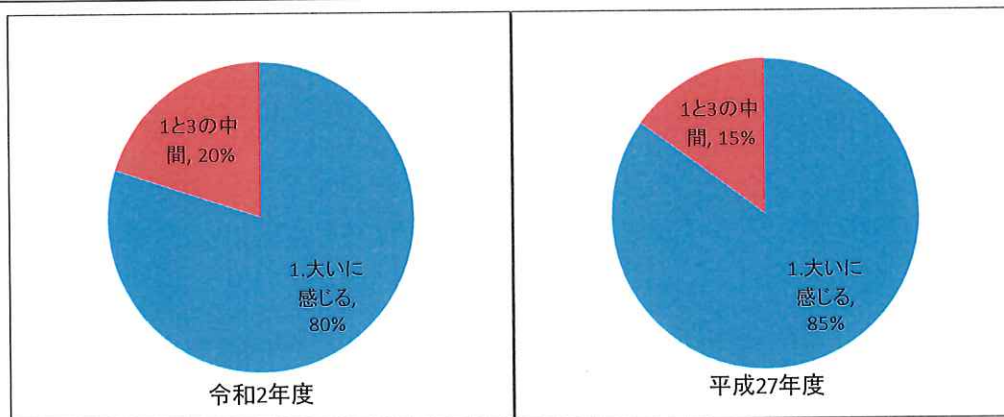
- ①開催日・場所 令和3年3月3日～4日
(於：県産業創造支援センター(山形市))
- ②実施方法 対面型・オンラインによる集合研修
- ③カリキュラム

3月3日(水)			3月4日(木)		
時間	所要時間	研修内容	時間	所要時間	研修内容
10:15	15	集合:時間厳守	9:15	15	集合:時間厳守
10:30	20	オリエンテーション	9:30	80	＜BI実習報告＞ 発表:10分×6名=60分 質疑:20分
10:50	70	＜研修総括＞ ・前期スクーリングのポイント ・受講者OJT分析 ・わが国の変遷とBI戦略 (一社)JBIA 星野会長	10:50	100	＜BIシステム創造編＞ 討論:60分 発表:10分×4グループ=40分
12:00	60	昼休	12:30	60	昼休
13:00	60	＜起業家対応報告と発表＞ 報告:10分×6名=60分	13:30	110	「今後目指そうとする固有のIM像」 発表と討論 (修了論文の骨子説明と討論) 修了論文発表:2分×20名=40分 総括:60分 (一社)JBIA 星野会長
14:00	10	休憩	15:20	10	休憩
14:10	180	＜ディスカッション・発表＞ (4グループに分かれ起業家対応OJT 各1件の報告とディスカッション・発表) ディスカッション:100分 発表:10分×4グループ=40分 質疑:10分×4グループ=40分	15:30	30	＜修了式＞
17:10	5	事務連絡	16:00	30	＜アンケート＞
17:15			16:30		
18:00	120	交流会(今後の状況により開催の可否を判断します。)			
20:00					

3. アンケート結果（抜粋）

研修の内容は、必要性を感じるものでしたか？

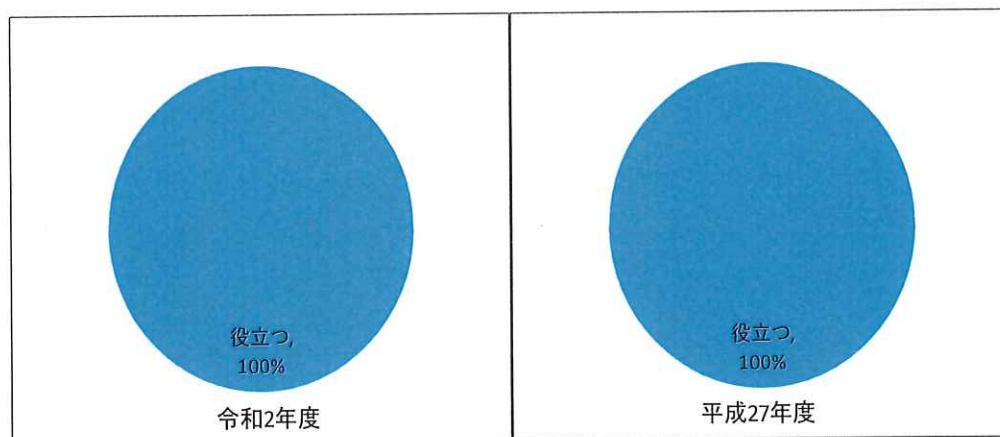
令和2年			平成27年	
項目	回答数	割合	回答数	割合
1.大いに感じる	12	80%	17	85%
1と3の中間	3	20%	3	15%
3.ふつう	0	0%	0	0%
3と5の中間	0	0%	0	0%
5.全く感じない	0	0%	0	0%



この研修は、あなたにとって役立つものでしたか？

この新修は、あなたにとって役立つものでしたか？

	令和2年		平成27年		
	項目	回答数	割合	回答数	割合
1	役立つ	16	100%	20	100%
2	どちらとも言えない	0	0%	0	0%
3	役に立たない	0	0%	0	0%



・ 令和 2 年度収支決算報告

令和 2 年度東北 I M 連携協議会収支決算書

(単位：円)

収入の部					支出の部				
N o	名目	単価	員数	金額	N o	名目	単価	員数	金額
1	前年度繰越金			74,317	1	HP 更新代		一式	18,590
2					2				
3					3				
4					4				
収入合計				74,317	支出合計				18,590
差引金額									55,727

差引金額合計

55,727 円は、令和 3 年度への繰り越しとする。

監査報告

令和2年度度東北IM連携協議会の収支決算並びに関係書類について監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和3年6月25日

監事 横山 繁 美 

監事 佐藤 利 雄 

2) 第2号議案

・令和3年度事業計画(案)について

① ワークショップ開催事業

- ・東北IM連携協議会総会・ワークショップ in 仙台 (7月2日・リアル、リモートのハイブリッド開催)
- ・東北IM連携協議会 Award・ワークショップ in 大船渡 (10月開催で調製中)

② 他機関との連携事業

- ・ビジネスマッチ東北2022への出展及びマッチング支援(令和4年3月10日)

③ 各県スキルアップ研修への協力

- ・山形県福島県宮城県3県合同スキルアップ研修(9月中旬仙台市)
- ・青森県スキルアップ研修(年2回開催 第1回8月6日(青森市)、第2回1月中旬(青森市予定))

④ 東北起業女子応援ネットワーク事業への参画と協力

- ・地域主催事業との連携やJBIAと連携して事業実施を行った「Start-up Attendant 養成研修」修了生との連携事業及び「SA認定」の開始を受け、フェーズ0.1.支援の充実を図ると同時に、起業アテンダントとの連携支援を提案し、女性の起業支援に対する理解と普及を実施する。

⑤ IM関連情報の発信

- ・全国各地域IM連携組織の事業等について、ホームページ等を活用し会員へ情報発信を行う。
- ・メーリングリストによる情報発信

東北IM連携協議会(一般会員:132名)

メーリングリストの概要

アドレス: taim02@taim.jp 管理者: 斉藤方達(石巻専修大学)

東北IM連携協議会(役員用:21名)

アドレス: touhoku-im@taim.jp 管理者: 斉藤方達(石巻専修大学)

⑥ 事業計画立案や活動内容検討

- ・支援企業ビジネスマッチング事業(仮称)を検討
- ・会員の増強

⑦ その他協議会の目的に資する事業

- ・JBIA、東北経済産業局、中小企業基盤整備機構、日本立地センター等への事業協力

⑧ ワークショップ輪番について

宮城(R3)⇒岩手(R3)⇒青森(R4)⇒山形(R4)⇒秋田(R5)⇒福島(R5)

3) 第3号議案

・役員改選（案）について

令和2年度が役員改選期であるが、コロナウイルス感染防止対策により総会を書面としたため役員を留任とし、今年度末の役員改選とした。

・東北IM連携協議会役員改選（案）

代表幹事：	庄司 孝一	山形 IM 連携協議会 会長
事務局長：	佐藤 亮	花巻市起業化支援センター
幹 事：	加藤 雅紹	(公財) 21 あおもり産業総合支援センター
	柿崎 博美	(公財) あきた企業活性化センター
	新城 榮一	(特非) 福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー共働機構
	斉藤 方達	石巻専修大学
	工藤 裕之	(独) 中小企業基盤整備機構・東北大学連携 BI (T-Biz)
	上平 好弘	弘前大学 社会連携部 地域連携コーディネーター
	鈴木 尚登	Be linked 代表 Biz サポートよこて IM
	平野 豊	(公財) 釜石・大槌地域産業育成センター
	田中 章広	(特非) 相双NPOセンター
	舟越 博紀	(公財) 山形県企業振興公社
	石川 宙生	(公財) みやぎ産業振興機構
監 査：	佐藤 利雄	(国研) 科学技術振興機構 産学連携展開部
	重巢 敦子	福島駅西口インキュベートルーム

4) その他

東北 IM 連携協議会規約

第1章 総則

第1条(名称)

本会は、「東北 IM 連携協議会」(Tohoku Association of IM . 略称「TAIM」)と称する。

第2条(目的)

本会は、会員相互の連携を図り、東北地域におけるインキュベーション活動および地域の発展に資することを目的とする。

第3条(活動)

本会は、目的達成のために以下の活動を実施する。

- 1) 情報発信及び情報共有
- 2) 会員や関係機関のネットワーク形成
- 3) 会員及び関係者のスキルアップ
- 4) その他、目的達成に資する活動

第2章 会員

第4条(種別)

本会の会員は、次のとおりとする。

- 1) 正会員 : インキュベーション活動を実施する団体及び個人
- 2) 賛助会員: インキュベーション活動に関係する団体及び個人
- 3) 名誉会員: 幹事会が承認した団体及び個人

第5条(会員情報)

本会の会員は、連絡先を本会に届けなければならない。また、変更が生じた場合も同様とする。

第3章 会議

第6条(種別)

本会は、総会及び幹事会を開催する。

- 1) 総会は、全会員で構成する。
- 2) 総会は、年1回の定期会と必要に応じて、臨時会を幹事会が召集する。
- 3) 幹事会は、代表幹事、事務局長、幹事、監査で構成する。
- 4) 幹事会は、必要に応じて代表幹事が召集する。

第7条(議決)

会議の議決は、出席者の過半数の同意によって決し、議決内容は会員により尊重する。

第4章 組織

第8条(種別)

本会は、次の役員をおくことができる。

- 1) 代表幹事及び事務局長(各 1 名)
- 2) 幹事 (若干名)
- 3) 監査 (若干名)

第 9 条(選出)

代表幹事及び事務局長、監査は総会において選出する。

幹事は、代表幹事が指名し、事務局長の同意を得て選任する。

第 10 条 (任期)

役員の任期は三ヵ年とし、再任を妨げない。

第 11 条 (事務局)

事務局は、事務局長の下に行う。

連絡窓口を東北経済産業局に置く。

第 12 条 (顧問・相談役)

本会の運営の助言を行うために、次の役職を招請することが出来る。

- 1) 顧問
- 2) 相談役

附則

1. 総会において、出席者の 2/3 以上の賛同のあるときに、本規約の改正・変更ができる。
2. 代表幹事が職務の執行を出来ない場合は、事務局長が監査の同意のもと職務を代行できる。
3. 実施

本規約は平成 24 年 7 月 6 日より実施する。